

# No. 1465

## 町に緑を

10月は「都市緑化月間」として国を始め地方公共団体も都市緑化、都市公園美化運動を展開しています。東京銀座では花や植木を配って緑化を訴えました。葛飾区でも3年前から区民に苗木を配布して緑の庭づくりに協力しています。また下水処理場の屋上を公園にして地域住民に緑のうるおいを提供しています。21世紀の始めには国民の70%が都市に住むといわれます。この機会に「緑の輪」をひろげたいものです。

### フラッシュ

- ① 「都民の日」に花を添えるミス東京コンテストが、東京・日比谷公会堂で行われました。大会には46人の地区ミスが出場。美しいだけでなく、知性と健康、明るさにあふれたミス東京に、港区代表の長谷川操代さんが選ばれました。
- ② 深まりゆく秋を彩る恒例の「名古屋菊人形展」が名古屋城で幕をあけました。今回のテーマは『徳川家康』。使われた菊は、白黄赤で、2千株、会場には菊の香りも漂い、入場者を楽しませています。

## 明治村

帝国ホテル中央玄関、聖ヨハネ教会、金沢監獄正面。愛知県犬山市には、明治時代のいろいろな建物を元の場所から移し建てた明治村があります。これは、明治の文化や生活を理解してもらい、後世に伝えるための野外博物館です。明治時代は欧米の文化を積極的に取り入れることによっていちじるしく近代化した時代で、我が国の文化史上、極めて重要な位置をしめしていると、いわれています。村内を走る京都市電、日本で最も古い市街電車です。明治初年、大阪に建てられた呉服座、およそ100年にあたり民衆の娯楽の場としてその役割を果たしてきましたが、昭和46年、明治村に移されました。明治23年、フランシスコ・ザビエルを記念するため京都に建てられた聖ザビエル天主堂。広い村内に建てられた東京駅前派出所、郵便局など、数々の明治時代の建築物に、新しい日本を築こうという明治の人たちの意欲と智慧と努力が垣間みられます。